

製品安全データシート

平成24年3月1日 改訂

1.化学物質及び会社情報

株式会社染めQテクノロジー
R&D 福元 郁子
茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971
TEL. 0280・80・0005(代)
緊急連絡電話番号も同じ
FAX. 0280・80・0006(代)

製品名 : 業務用ビックリン
製品説明(種類) : ペースト状洗剤

2.組成・成分情報(危険有害性物質を対象)

〔単一製品・混合物の区別〕 : 混合物
〔成分及び含有量〕

成分名	CAS. NO	化審法・安衛法	含有量(%)
水	-	-	55~60
増粘剤	-	-	5~10
安定剤	-	-	1~3
pH調整剤	-	-	1~3
分散剤	-	-	1~3
皮脂分解剤	-	-	25~30

3.危険有害性の要約

〔最重要危険有害性及び影響〕

物理的及び化学的危険性 : ・通常の使用では危険性は低い。
・酸性物質との混合は、ガスを発生させる。
・皮膚に付着すると肌荒れを起こす事がある。
危険有害性の分類 : ・該当しない。

4.応急処置

吸入した場合 : ・通風の良い場所で休養する。
皮膚に付着した場合 : ・水又は石鹼水で十分に洗い流す。
目に入った場合 : ・流水で十分洗う。必要に応じて眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : ・吐かせて本品を持参の上直ちに医師の診断を受ける。

5.火災時の措置

消火剤 : ・不燃性で消火作用を有するため、消火方法は特でない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項 : ・作業時には保護具(手袋、眼鏡)の着用が望ましい。
環境に対する注意事項 : ・河川や下水への大量排出は避ける事。
回収、中和などの除去方法 : ・吸着剤(オガクズ、ウエス等)に吸着させ取り除いた後、
残りをウエスや雑巾等でよく拭き取り、大量の水で洗い流す。
吸着剤に用いたウエス等は焼却する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

[取り扱い]

- 技術的対策 : ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具の着用が望ましい。
- 注意事項 : ・使用していない容器は密閉し、又こぼさぬ様 注意して 取り扱う。
- 安全取り扱い注意事項 : ・異物の混入を避ける。

[保管]

- 保管条件 : ・直射日光が当たらない様にする事。
・火炎、火花、温度変化の激しい場所には 貯蔵しないこと。
- 容器包装材料 : ・密閉できるポリ容器。

8. 暴露防止及び保護措置

[保護具]

- 手の保護具 : ・手袋着用が望ましい。
- 目の保護具 : ・保護眼鏡の着用が望ましい。
- 皮膚及び 身体 の保護具 : ・作業衣着用が望ましい。

9. 物理的 及び 化学的 性質 (抗菌剤薬液について)

- 物理的状态 : ・白色ペースト状
- 沸点 : ・データが得られていない。
- 比重 : ・1.0(20℃)
- 溶解性 : ・水に易溶
- 引火点 : ・無し
- 揮発性 : ・無し
- 可燃性 : ・無し
- 自己反応性・爆発性 : ・無し

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : ・通常の条件においては、安定である。
- 特定条件下で生じる危険な反応物 : ・酸性物質との混和において ガスが 発生する。
・加熱により炭酸ガスを放出し炭酸ナトリウムとなる。
- 危険有害な分解生成物 : ・通常の条件においては、安定である。

11. 有害性情報

- 急性毒性 : ・TD50 4,220mg/kg(普通物)
- 皮膚腐食性・刺激性 : ・眼 ウサギ 100mg(後洗浄) 軽度
・皮膚 ヒト 30mg/3日(多回投与) 軽度

12. 環境影響情報

- 移動性 : ・知見なし
- 残留性・分解性 : ・知見なし
- 生態蓄積性 : ・知見なし
- 魚毒性 : ・知見なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : ・ウエス等に浸み込ませて焼却すること。
- 汚染容器及び包装 : ・容器は清浄にして、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

輸送に際しては、容器に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、破損が無いように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法	:	・該当しない。
毒物劇物取締法	:	・該当しない。
化学物質管理促進法 (PRTR法)	:	・該当しない。

16. その他

引用文献 ・原材料物質データベース(日本塗料工業会編集)
・ICSC(1999)
・化学物質の危険・有害便覧(中央労働災害防止協会編)
・JCIAデータベース
・安全衛生情報センターデータベース
・(財)化学物質評価研究機構データベース
・原料メーカーMSDS

注意

この製品安全データシートは、安全な使用と取り扱いをして頂く為に 信頼し得ると考えられる資料ならびに測定などにに基づき 一般的な取り扱い等を前提として作成したものです。

記載している注意事項は 人、環境、安全、健康等 全ての面への影響を網羅するものではありません。

また 製品について如何なる保証をするものではなく、使用におかれましては 関係法令に従い この製品安全データシートを参考に ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定の上 ご使用下さいますようお願い致します。
